

学校関係者評価報告書

愛媛県立長浜高等学校

評価実施日

令和6年2月15日(木)

評価・提言等

提言等に対する改善方策等

1 今年度の最終評価について

(1) 学習指導

主体的に学習に取り組む生徒が80%を越え、調査前家庭学習時間は、目標である1日の平均学習時間2時間30分を越える結果となっている。教室環境も良いと感じる。ICT教育においては、生徒一人1台端末の活用について、更なる工夫の余地があると考ええる。

- ・生徒の実態把握及び能力の把握に努め、主体的に取り組むことのできるような学習態度を育成していく。
- ・学習の本質を見失わないように心掛け、生徒一人1台端末機器の積極的・効果的活用を図る。

(2) 進路指導

充実した進路ガイダンス、進学メンターシステム等の活用が、意識の向上や目標の実現につながっていると感じる。多岐にわたる進路希望に対する、個々に応じた指導の効果が見られる。

- ・生徒の進路希望状況を反映させ、効果的な取組を行い、さらなる意識啓発に努める。今後は大学進学希望者の増大が見込まれるため、より適切な進路指導が行えるよう、指導体制や指導方法について再度検討する。

(3) 生徒指導

部活動においては、四国大会への出場や1年生の活躍が見られ、文化部等においては地域貢献活動や全国大会レベルの結果も得られており、喜ばしい。生活面においては、欠席の増加や身だしなみに関して不十分であると感じることがある。生徒数増加に伴い、きめ細かい指導が必要になると考える。

- ・魅力ある部活動運営、雰囲気作りを行い、部員確保や更なる活動の充実に努める。
- ・欠席の理由は様々である。生徒が規則正しい生活をし前向きに登校できるよう、個々に寄り添った援助を行っていく。
- ・身だしなみに関しては、校則の改善を図りつつ、適切な指導を継続して行う。

(4) 健全育成

様々な活動に意欲的に取り組む様子が伝わり、学校生活に満足している生徒が増加していると感じる。ボランティア活動への参加延べ人数も増加しており、活動に前向きな様子がうかがえる。活動中の態度も礼儀正しく一生懸命であり、地域の活力となっている。

- ・面談やアンケートを活用し、生徒の状況の把握をより一層進める。特に単身生活生が多くなっているため、積極的に話を聞くよう努める。
- ・日頃サポートをしてくれている地元の方のために、また、地域の活性化に向けて、数多くの生徒がボランティア活動に参加するよう意識啓発を行う。

(5) 特色ある学校づくり

水族館運営や、地域活性化に向けた探究活動「地域探究プログラム」など、地域活動の活躍が素晴らしい。中高連携の活動もあり、中学生にも良い影響を与えている。地域の活性化だけでなく、生徒自身の生きる力の育成にもつながっている。来年度からの新しい水族館にも期待したい。

- ・地域探究プログラムや授業、部活動等において地域の課題解決に主体的に取り組むための意識啓発を行い、地域に根差した活動・研究を今後も継続していく。
- ・水族館活動に関しては、移設や水族館部員の大幅な増加などにより新たな課題の発生が予想されるが、対処していき活動の充実に努める。

2 評価・公表について

学校通信やホームページなどを通してよく情報発信されており、生徒の活動の様子が分かるのでありがたく思っている。

- ・学校の様子や教育活動の状況、生徒の活躍ぶりがよく伝わるような情報発信を今後も継続し、保護者や地域の理解が一層深まるようにする。

3 学校運営への提言

よく努力されており、日頃の教育の成果が出ていると思う。水族館活動だけではなく、地域貢献や様々な取組による全国レベルの成績等、望ましい状況だと思っている。さらなる進化を期待したい。

- ・学校評価アンケートの結果やいただいた提言をもとに、地域の協力をいただきながら今後さらに魅力ある学校づくりを進めていく。